

## はじめに



宇治市では、「一人ひとりを認め合い ともに支え合う 安心して暮らせる住民主体の福祉のまちづくり」を基本理念に、住民の誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、生活課題の解決をめざす総合的な福祉のまちづくり計画となる「宇治市地域福祉計画」（以下、第1期計画）を平成16年3月に策定し、行政内部の福祉に関する部門別計画をはじめ、宇治市社会福祉協議会が平成18年3月に策定された「宇治市地域福祉活動計画（しあわせプラン）」とも理念を共有しながら、様々な施策を展開し、地域福祉の推進を図ってまいりました。

しかし、少子高齢化や核家族化の進行により、高齢者に限らないひとり暮らし世帯が増加し、また、長引く経済不況により特に若年層の就労が困難になっている等、社会情勢は大きく変化してきております。それに伴い、孤独死や虐待、ひきこもり等の社会問題化、自殺者が13年連続で年間3万人を超える等、新たな問題が発生しております。

一方、地域では住民同士の交流やふれあい、つながりの希薄化が進んでおり、地域コミュニティの再構築が求められています。

このような状況をふまえ、住民、社会福祉に関する活動を行う人々、福祉サービス事業者、社会福祉協議会、行政の5者による協働のもと、さらなる地域福祉の推進を図るための指針として「第2期宇治市地域福祉計画」を策定いたしました。

本計画では、第1期計画の基本的な考え方を継承し、福祉部門以外の行政計画とも連携を図りながら、計画に沿った施策や取り組みを積極的に推進し、基本理念の実現をめざしてまいりますので、市民の皆様と関係各位のより一層のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりまして、長きにわたりご論議いただいた宇治市地域福祉推進委員会委員の皆様をはじめ、アンケートにご協力いただいた各団体・事業者の皆様、住民アンケートやパブリックコメントの実施に際し、貴重なご意見やご提案をいただきました市民の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成23年(2011年)3月

宇治市長 久保田 勇